



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会

高石市羽衣 2-2-27

TEL 072-261-1563

FAX 072-261-1594

2016年11月号 (2016.10.30 発行)

からし種

スピノラ修道女会 Sr.高島信子

「天の国は一粒のからし種に似ている。ある人がそれを取って畑にまいた。それは種のうちでいちばん小さいものであるが、成長したときはどんな種より大きくなり、空の鳥が来てその枝に巣を作るほどの木になる」(マタイ 13:31)

からし種ってどのくらい小さなものかしら・・・と常々興味を持っていた時、ある方がその種を下さいました。その種は想像以上に小さく、砂粒のような黒い粒々ではありませんか。「これが大木になる。本物を見たい」と思ったものです。

昔、幼稚園に達ちゃんという肢体不自由の子どもがいました。彼は優しく、柔和で、笑顔の絶えない子どもで、ご両親が園に送ってきて、車椅子に乗せると、お友だちが保育室に連れていき、持ち物をロッカーに入れたり、達ちゃんの特製の椅子に座らせたりと、周りのお友だちが彼の世話をしていました。ある時、ホールで競争ごっこをしていると、達ちゃんが椅子から降りて這いながら競争に加わりました。それに気づいた一人の女の子が達ちゃんの横に腹ばいになりながら競争に加わったのです。それを見た他の子どもたちも一斉に走るのをやめて、腹ばいになって達ちゃんと並んで、笑いながら競争ごっこを始めたのです。その時の達ちゃんの輝いた幸福そうな笑顔と、周りの子どもたちの、楽しく幸せそうな光景を忘れることができません。一人の小さな子どもの、小さな温かい他者への気づきが、達ちゃんに、そして周りの一人ひとりの心に、大きな喜びと愛の温かさを広げていったのです。

先日、列聖されたマザー・テレサ、そしてリジューの幼き聖テレジアは、小さいことを、日常生活のごくつまらない事でも、イエス様に大きな愛を持ってお捧げしました。

日々の生活の中で、小さなことを大切に生きていけたら、からし種のように、たくさんの人の憩いの木になれば、どんなに幸せなことでしょう。

